



かけはし part 2

秋のマラソン大会はタイムアップ賞でいっぱい！！

学校公開の日（11月1日）はあいにくの雨で順延になった秋のマラソン大会でしたが、2日は絶好のマラソン日和になりました。低学年は1000M、中学年は1500M、高学年は2000Mを走りました。業間（2限目と3限目の少し長めの休み時間）運動として、根気よく続けてきたマラソンの総まとめです。当日の登校時は、マラソンの得意な子どもたちは順位を春のマラソン大会より落とすとはいけないという緊張した顔で、苦手な子どもたちは「なぜこんなに長い距離を走らなければいけないのかわからない」という顔で、すでに用意されたグラウンドをまわし目で見ながら、アンパンマンロードを歩いて祖母の方の声援を受け、普段の力の何倍も出して走り切りました。春のマラソン大会よりも、タイムがなくなった児童は、全校で272名もいました。



【思いやり清掃】

清掃を通して「頑張る心」と「気づきの心」と「感謝の心」を育てたいという願いから『思いやり清掃』を継続しています。放送委員の「黙想しましょう。」というアナウンスで、心を静かに落ち着かせ、「しやべらずに進んで心を込めて」を合言葉に、一生懸命に清掃をしています。教職員も一緒に行っています。このときは、学校中が、シーンとしています。



【ふれあい学級】

10月29日（土）に、PTAの学級委員会の方々が中心になって、計画・実施してくださったふれあい行事『せりかなコンサート』が行われました。

テーマの〈音楽の風に乗って〉の通り、子どもたちは、せりかなさんの歌の世界に、どんどん惹きつけられていきました。福井県越前市出身のせりかなさんは、曲も自分で作って、今後ブレイクしそうな歌手で、「高校を卒業するまで、全く歌手にならなうなんて思っていなかった。ギターが弾きたいと思ってから、練習を始めた。曲も自分で作りたかった。作詞作曲の勉強を始めた。なりたい自分になること、強いというこは、ない。そのときに、どれくらい一生懸命に努力するかが大事だ。」と



曲の合い間に子どもたちに話してくれました。せりかなさんの曲「風になって」を、一緒に歌いました。後期が始まってから、朝の歌として歌ってきた子どもたちが、歌詞も見ないで歌ったことに、せりかなさんは、感動してくれました。盛り上がり、アンコールの後、また、その曲を全員で歌いました。コンサートの中頃に、ジュラックが駆けつけてくれたことにも、子どもたちは大喜びでした。

